

みんなのまち湖山西

25 湖山西地区防災フェア開催

湖山西地区自主防災会連絡協議会

会長 渡辺 琢也

八月二十五日(日)の、『湖山西地区防災フェア』開催日早朝から、雨が激しく降り開催できるか心配しましたが、開会の頃には雨もやみ、開催することができました。

当日は、地域住民の防災意識の向上を図るために、「鳥取市西北部一帯を震源とする、マグニチュード7の地震が発生し、湖山西町内においても、液状化現象による家屋の倒壊が多数発生し、火災も発生している・・・」と想定し、各町内から地区公民館まで、責任者が参加者を引率して避難訓練を行いました。訓練の参加者は、約一三〇名でした。前年より3割増加しました。また、事象を防災無線で放送、消防車で周知する等の広報活動も行いました。

開会式では、高垣会長の開会あいさつではじまり、来賓の深沢鳥取副市長には、一九四八年(昭和十八年)九月一日の鳥取大震災(震度6)から七〇年目のこと、行政と地域が連携した防災体制が重要とのこと、小林湖山西消防署長には、現場での防災取組みについて等、それぞれの立場で「あいさつ」を頂きました。

体験コーナーでは、湖山西消防署・湖山分団・松谷ポンプ(株)の協力により、AED・起震車・消火器の消火体験・消火器及び、防災機器の相談等のコーナーを設け、消防士、消防団の方々の指導で、各コーナーをブロック毎に体験して

頂きました。特に、起震車では皆さんに震度6強の揺れを体験していただき、立つことも座ることもできず、その凄さに驚嘆されていました。



第10号 H25.10 発行

発行 湖山西まちづくり協議会
責任者 会長 高垣 与次
事務局 湖山西地区公民館
連絡先 (0857)311-3581

炊き出し訓練では、非常時を想定しカレーライスを用意し、皆さんに試食して頂きましたが大変好評でした。

おわりに、昨今全国各地で、十数年に一度の大雨(特別警報)・ゲリラ豪雨による洪水・竜巻等風水害の被害が数多く発生しています。

この様な現象を見ても、皆さんが日頃から防災について常に意識するとともに、災害から『自分の命は自分で守る』という気持ちを常に意識して行動することが大切だと思います。

大勢の皆さまにご参加・ご協力いただきましてありがとうございます。

日本海新聞に掲載された記事

2013年(平成25年) 9月18日 水曜日

住民個人真剣に 鳥取市 湖山西地区

AED操作や消火体験、鳥取市「湖山西地区まちづくり協議会」主催、湖山西消防署など、湖山西地区公民館と湖山西体育館で開かれ、地区民約260人が防災意識を高めた。



消火訓練に取り組む参加者

防災フェアに参加して

北四丁目内会 麻木 哲夫

八月二十五日に開催された『25湖山西地区防災フェア』に参加しました。

私たちが北四丁目の住民は、町内に消防署があることから、安心感が先に立ち、つい火災や防災訓練に対しての参画意識が薄れがちですが、「大規模な災害時には頼れない」ということを都度、町内の皆さまに周知しながら防災活動に取り組んでいます。

当日は朝七時四〇分に二十六人が町内会館に集合して出発。三回目なので慣れたものと思っ



各町内からの避難者 確認中!!



AED・心肺蘇生講習 熱心に受講中!



炊き出し訓練 カレーの試食中!!

ことに気付きました。やはり油断は大敵です。会場では、開会式の後、各町内に分かれて、起震車・消火器操作・心肺蘇生について体験しました。起震車では、震度7強を体験しましたが、何も行動できないことを改めて認識しました。また、心肺蘇生では詳しく指導いただいたものの、実技ではすっかり飛んでしまい、繰り返し訓練の重要性を感じました。

最後は、炊き出しのカレーの試食です。味は格別ですが、実際の災害時には命をつなぐための大切な食事です。しっかりと噛みしめました。

このフェアは、いざという時に役立つことを楽しく「実体験」できる場です。ぜひ多くの皆さんに参加していただきたいと思っています。

防災訓練に参加して

食生活改善推進員 田中 光恵

私達、食生活改善推進員は、炊き出しの係りでした。今年「カレー作り」です。「災害時にカレー作りなんて、できるはずないでなあ」という声も聞かれました。いざという時に何が出来るか誰にも分からないことではないでしょうか。大切なことは、地域内のチームワーク、人との繋がりがだと思います。人と人との協力がしっかりとあれば、相談し知恵も生まれてくるでしょう。

私達、炊き出しチームは、それぞれの作業状況を見ながら声を掛け合って、スムーズに時間内にカレーを作ることができました。

いざ、災害が発生した時に集まって、何が実際にできるか不安ですが、知り合った人達と連携を取り合えると思います。訓練をしたことよって、少しは心強くなれたと思います。

皆さんも、一度は訓練に参加してみてください。

『備える』『知る』は訓練の第一歩だと思います。



平成二十五年度
湖山西地区敬老会 盛大に開催

湖山西地区社会福祉協議会

会長 岩崎 義幸
いわさき よしゆき

今年度、湖山西地区には、七十五歳以上の方は四百三十二名で、当日の出席者は百三十名でした。九十歳到達で市長表彰該当者は、十一名でした。おめでとございます

湖山西地区敬老会を、連休と暑さをしのぐ意味を含め、例年より二週間遅れの九月二十九日(日)に実施いたしました。

今年も開催場所は、湖山西小学校体育館をお借りして実施しましたが、広くてゆとりがあり、暑さもおさえられて、『ふれあいの場』としてふさわしい敬老会となりました。

特に、今年は四人掛けの円形テーブルを利用する事により、「会話がしやすく、話を通じやすかった」と感想を聞くことが出来、この件においては成功だと自負しています。

今年度、敬老会の実施に当たっては、基本的に昨年の内容を踏襲する形をとるものの、一つでも新鮮さを織り込む努力をしました。しかし限られた時間内での行事進行には、無理の利かない苦しさがありました。

地区の将来を担う可愛い園児や、小中学生の演技は可愛さだけでなく、生きる力をもち心温まるものを感じるものがありました。一方、アトラクションの一般演芸は、公民館活動で培った歌やおどりが披露されました。華やかさの中にきまりよく演技されていて楽しく演技を鑑賞す



中山さんの作品

ることができました。

今年も多くの元気な方々とお会いでき、お互いにふれあう事で、敬老会本来の姿である『敬うこころ』『癒しの時間』をもとに共有することができました。

湖山西地区では、敬老者が毎年二十名を越える勢いで、増えていく姿は喜ばしい現象と受け止めています。

高齢者の皆さまは、この地区の歴史を築き上げられた知恵と知識の持ち主です。私達も微力であっても、まちづくりの推進のため、一歩でも前へ進むべく努力をする決意であります。皆さまのお持ちの知恵袋をお貸しいただき、この地域にふさわしい、思いやりのあるまちづくりの延長線上に『おもてなし』のこころで、今後とも敬老会を一層盛り上げていきたいと思っております。



おじいちゃん おばあちゃん いつまでもお元気で 長生きして下さい



来賓のみなさま



祝 湖山西地区敬老会



わが地区の宝 湖山池



地区の宝として... 世界に誇れる...
湖山池をもっと自慢しましょう!
自慢できる湖山池にしましょう!!



草刈りの後の遊歩道もきれいに!



皆さま おつかれさまでした

湖山池北岸美化清掃

ボランティアに参加して

民生児童委員協議会 長谷川 憲之

七月六日(土)湖山西まちづくり協議会の恒例行事のひとつで、湖山池北岸美化活動が、毎年三回行われ、今回も民生児童委員協議会の一員として参加させていただきました。

主に北岸周辺の草刈りとゴミ拾いですが、毎回大変なゴミの多さに驚いています。たくさんの方のボランティアで行いますから、約一時間くらいの作業です。

この、まちづくり協議会の北岸美化活動の様子を見て、一人でもゴミのポイ捨てをする人が、少なくないかと思いつつ、ボランティアの一人として次回も参加したいと思っております。